

常盤新聞

日刊 (發行所) 川崎 文治

本社印刷所 (電話六三〇番)

常盤新聞印刷所

刊夕日十二月六

常盤文藝

口語短歌 鳴海要吉選

山に來て時計は無いが吾れの影小さくなれば晝飯を食ふ

鉄を持つ手は眞黒だ神の様に心は清く働いてゐる

風さわぐ稻荷の杜で行く末を祈つて泣いた今日もこつそり

澤田 白村

投げやれば浮いて來て喰ふ鯉のゑさみんな下投げた池のはとりで

繁がれて猿が何んだか食つ

てゐる陽は照る夏の此處も

弟を叱り過ぎて今更らにわかれは淋しい室も静かで

成田 英子

おだやかな日に照らされて村人の土手に憩う朝ののどけさ

二三羽飛び下りて來てつゝいてる米のこぼれを雀かはゆい

川邊奇恵智

聲だけは三年前のあの聲だ病んで歸つた友があられたけたまじい電話のベルに眼覺めれば雀鳴いてる空が晴れて

多茅三棹

風つよい春のまひるを子と

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める

川崎 文庫

電話六三〇番

(申込次第規則書進呈)

外科

赤心堂病院

田町 電話四七五番

外科一般 耳鼻咽喉科 女性病科 X光線科

ホシゴノール

主治効能

急性及慢性の痲痺、消渴、膀胱炎、膀胱カタル、糠衣丸定價金(壹圓六十錢 七十四錢)

星製藥株式會社

チエーンストア

牛町三丁目三〇

中形浴室列會

リヨ日十月六

特價品

手拭地 八十錢 白染新 九十五錢 紹中形 二圓三錢

中野吳服店

電六七番

夏の涼み

蓄音機とレコード

タイムを尊しこ

會田時計店

電話三六三番

南部鐵瓶

日掛 御便宜ニ致シマス

ホーキン 爐カギ 各種 精巧優美

南部 屋

新舞子漁遊會々員募集

會費 五拾錢

毎月第二日曜日午前七時ヨリ十時迄に出發午後四時歸着

右五百名ヲ限リ募集ス希望者ハ平町一丁目松崎自動車部迄テ申込アレ

松崎 自動車内

漁遊會事務所

登録商標

吉

醬油 味噌 罐頭 酒類 調味料

鹽屋山崎合名會社

電話 一〇七番

平町紺屋町吉田眼科醫院

牛乳の人つた白玉

永ベルベツト 十二ヶ入拾錢

平四 マツモトヤ

電二一四

福山靴店

靴とカバン 革製具類

特に學生靴の耐久力を御使用の上御試し下さい

平町搔搔小路(役場前)

阿部石炭商店

階上食堂

同伴席アリ

設備アリ

美味 評判 イウキ食堂

オの部電話四六〇番

藤沼醫院

内科 小兒科 花柳科 (需應院入)

平町紺屋町

電話 五〇七番

淺はかな女心から 親や亭主を捨てて 無斷家出の數々

附たり、化かされ藝妓の事

最近平地方には女優熱に冒され雲を掴む様な空想を追ふて出奔する婦女子やつまらぬ榮達を夢みて東京に憧れ亭主を捨てる歳若い女等が多く毎日平署の受付口には

幾通か

の搜索願が舞ひ込むため係員は是れが應接に忙殺されて居る、今日も平町三丁目渡邊藥店の雇人田中シゲ(一)同町新川町秋山富志男内縁の妻加藤サヨ(二)石城郡赤井村大字西小川高萩前田藤吉の三女キヌ(三)等何れも無斷家出を

家出を

をしたらどの事にて平署に夫々搜索方願出た、茲に少し風變りなのは平町二丁目裏藝妓屋眞佐の家の藝妓みどり事加賀かはる(一)が十九日午後零時半頃舊城跡の白面稻荷へ参詣に行つた儘夜になつても歸つて来ない、テツキリ

逃走

も取押方を願出たが今朝午前四時頃失神した様な姿で舊城跡を歩き廻つて居たのを仲屋の鈴木武雄君が見付けて連れ戻したお稻荷さんにつかれたのではないかと噂さるゝ

學務委員協議

平町學務委員會は本日午後二時

共同經營

事業を計劃

石城郡玉川村大字島農事實行組合員協力して農事の改良増收等に努め好成績をあげてゐるがさらに進んで左記事業を計畫實行を期してゐる

近く本縣の

沖合に現る

各濱の鯉魚

活氣を呈す

石城郡四倉、江名、豊間、小名濱の各濱には毎日四五千匹位づつ鯉魚があり陸揚げされ活況を呈してゐるが鯉釣場は千葉縣九十九里濱沖合で石城各濱の魚船は鯉を漁獲すると銚子港に寄港してから夫れと歸港するので費用も可成りかゝるため鯉の相場も例年に比し高値を示してゐるが鯉群は漸次潮

四歳の幼兒が

ノミでノドを突く

親達の少しも知らぬ間に

轉んだ機みに此始末

本日午前十時頃平町古鍛冶町建具職小泉民治の三男光政(四)は仕事場より道具の鑿を持ち出し戸外で遊んで居たが石につまづいて轉ぶ機みにその鑿を喉に突き立て上田醫院に搬送込まれて應急手當を受けたが生命危篤、父親民治君は腕さゝの建具職にて愛兒が少しも知らぬ間に危険な道具を持ち出して此始末と悲嘆に暮れて居る

操車係重傷

濃霧の爲めに

鐵橋から墜落
常磐線湯本驛操車係三浦啓三郎(三)は十八日午前四時半頃貨物列車の操車信號中濃霧のため誤つて橋内第二湯川の鐵橋から約一丈五尺下の河中に墜落胸部を強打全治一ヶ月の重傷を負つた

學生禁酒

平町で演説會

早稻田大學學生廢酒同盟會の宣傳部一行は暑休を利用して七月十日頃平町に來り學生に廢酒を實行せしむべき大演説會を開催する筈であ



我が子の

母親が縊死す

石城郡好間村大字上好間宇山下雜貨商吉田ツヨ(一)は強度のヒスナリに罹り北海道に出稼中の長男清好の身の上を案じ暮して居たが

夏と胃の衛生

夏は餘程食物に注意しませんと食あたりのする事があります。若し食物にあたつた時は絶対に安静を保ち、

電動機を借り

揚水の計畫

植付不能を恐れ
小名濱地方民が陳情
石城郡小名濱、泉地方三百町歩の水田は全くの天水場で灌漑用水の設備が無いので年々旱害に悩まされてゐるが本年も去る十五日恵みの慈雨はあつたけれど漸く田面を濕した程度に過ぎず田植期も迫つてゐる折柄苗の植え付けが出来ないでは一大事であると百餘名の耕作者協議の結果藤原川から揚水し灌漑したい夫れには小名濱築港事務にある縣の電動機を借り入れ使用したいと十七日縣へ陳情書を提出した

平地方の

氷水屋さん

今迄に三百軒
平署に於て今夏の氷水營業許可を受けたものは平町及

妙見神社祭禮

平町白銀町北辰妙見神社にては廿一二の兩日祭典を執行し青年團の擔煎りて小供連の樽神輿や藝妓手踊の余興等あると

石城産馬検査

石城産馬畜産組合では國有種牡馬種付にかゝる産駒検査及び優等牡馬検査を左の日割で施行する

耳の鬼

隣室の夫婦が尋ねる兄、長野警務署で暮つた黒姫山麓の炭焼人夫として飯場の一室に燻つてゐた長野縣上水内郡三水村生れ大澤文作(三)は腹達ひの兄を尋ねあぐんでゐた處隣室にゐる同じ仕事の新潟縣中頸城郡中山村大澤新之助(三)と懇意になり兩人過ぎこし身の上話に毎日の疲れを忘れてゐたがだんだん暮すうち日頃捜してゐた兄が此の新之助で不思議な邂逅に兩人さゞへのやうな拳で涙を拂ひ嬉し泣きは活動映畫ソックリ

物から梅干、葛湯等を與へて二三日はうすい糊と梅干スープそれからだん／＼普通の食に移るやうにいたしました。餘りひどくない食あたりの時は一日位絶食して安静を守ればよろしいです。しかし酒とかビールのやうな刺激性の飲料は二三日排さねばなりません

二百名以上の

多人數で押出す

尼子亭主人の企て

鹽原方面へ二泊三日の團體
住吉屋本店の主人青天目君の没後は平町に大きな旅行團體の企てがなく旅行に趣味を有する人々をして徒らに皮肉の嘆を發せしめて居たが今回尼子亭の主人の吉田直之助君が二百名以上の多人數を募つて日光、修善寺、鹽原方面へ二泊三日の旅行團を企て既に鐵道當局との諒解を得たと云ふ事であるが會費に十五圓で開催は期に十月上旬頃の旅行シ

窪田養鶏組合

事業内容その他

石城郡勿來町窪田の養鶏副業家は此程當事者の利殖増進を専ら理想的ならしめんと窪田養鶏副業組合を設立して二十二日午後一時から

平町人事

出生

死亡

△七軒町二九 佐藤昌訓氏三女アサ子
△番匠町一一 當時東京府荏原郡駒澤町渡邊カン(六四)